

平成21年度第3回中原区区民会議

日時 平成22年1月14日(木) 14:00~

場所 中原区役所5階 502・503会議室

午後 2 時 開 会

委嘱状交付式

司会 皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから平成21年度第3回中原区区民会議を開催いたします。

開会に先立ちまして、委嘱状の交付式を行います。これは、前委員でありました宮本良彦氏の後任として、稲富正行氏に委嘱するものでございます。区長から委嘱状をお渡しいたしますので、私がお名前をお呼びいたしましたら、その場でお受け取りください。

それでは、区長、よろしく願いいたします。

〔区長から稲富委員へ委嘱状交付、拍手〕

以上をもちまして、委嘱状交付式を終わります。

1 開会

司会 それでは、改めまして、平成21年度第3回中原区区民会議を開催いたします。村山委員ですが、所用によりご欠席との連絡をいただいております。また、潮田参与、東参与、市古参与は、所用のためご欠席です。なお、清水参与、志村参与、松原参与、吉岡参与、滝田参与、田島参与、徳安参与は、遅れて到着される予定ですので、よろしく願いしたいと思います。

それでははじめに、中原区長の畠山よりごあいさつ申し上げます。よろしくお願い致します。

区長 改めまして、皆さん、こんにちは。中原区長の畠山でございます。どうぞよろしくお願い致します。

本日は、この区民会議に委員の方々、そして参与の方々には大変お仕事がお忙しいところ、また、それぞれの地域活動がいろいろ入っている中で、そしてまた、大変冷え込む気候の中でこの会議にご出席いただきまして、大変ありがとうございます。それからまた、本日も傍聴の方々には中原区区民会議にご関心を向けていただきまして、大変ありがとうございます。

今回は、皆さんの第2期の区民会議としましては第7回目となるわけですがけれども、前回、10月に引き続いて「まちの魅力を見つける」というテーマでご検討を深めていただくということになります。これは前回、中原区のいろいろな魅力について皆さんで出し合い、お話をさせていただきました。その後、課題調査部会あるいは運営部会でさらに突っ込んだ議論を行い、整理をしていただいた内容について、本日皆さんで意見交換をして、このテーマについてのまとめをしていただくという形になりますので、よろしくお願いしたいと思います。

それからまた、皆さんの任期につきましても、次回、第8回目で一応最後という予定に

なっておりまして、そこでは皆さんのこの2年間の活動・成果、あるいは到達点というものについてまとめていただいて、報告書という形で整理していただいた上で、市長あるいは区民の方々に報告していただくこととなりますので、その辺もにらみながら本日のご議論を進めていただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

中原区の状況ですけれども、先日1月1日現在の中原区の人口が発表になりまして、22万9871人ということがございます。ここ4カ月ほど23万人一歩手前ということで一進一退という状況でございますが、それでも去年の1月1日と比べますと、中原区の人口は3722人、約3700人増えておりまして、区の人口も7区の中では一番多いんですが、去年1年間の人口の増え方も、やはり以前に引き続いて7区の中で一番多かったということがあります。それからまた、中原区の特徴として新しく生まれる赤ちゃんの数が多いということもありまして、去年1年間で2721人、約2700人の赤ちゃんが生まれたといいますが、中原区役所に出生届が出されたということがありまして、これは一昨年とほとんど同じ数字ですね。8人ほど少なかったのですが、出生届の数も中原区が川崎市の中で一番多かったということもありますので、やはりそれだけ若い方が多いのかなという気もいたします。

そしてまた、中原区は以前から、よその地域から中原区で新しい生活を始められる方が大変多いという傾向が続いていますけれども、昨年も転入届という面では2万1000人を超える方々が中原区に転入をされておりまして、新しくよその地域から中原区に引っ越してこられた方々と新しく生まれた赤ちゃん。要するに新しく中原区民となられた方の数を合計しますと2万4000人を超えておりまして、区民のうちの10人に1人が新しい区民ということにつきましても、以前の傾向をそのまま引き継いでいるという形になります。したがって、今回皆様方に「まちの魅力を見つける」という課題でご検討いただいているわけですけれども、以前からこの地域でご活躍の方々につきましても、町並みが急速に変わりつつあるということで、地域のことについて再認識をしていただくという観点からもご議論いただければと思いますし、特に新しく中原区民になられた方々につきましても、やはり中原区を知っていただくという意味では「まちの魅力を見つける」ということでご議論いただいたことを新しい区民の方々に届けることができれば、今後の区民の方々の触れ合い、交流、あるいは一緒に何かをしていく出発点としていいものができるのではないかなとも思っておりますので、本日のこの区民会議について、皆さんの熱心なご討議をいただきたいと思います。

ということで、少し長くなりましたけれども、冒頭に当たりまして、私からのあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

司会 この会議は、会議公開条例に基づきまして公開で行われます。また、会議録を作成し公開することとなりますので、ご了解いただきたいと存じます。また、傍聴があった場合にも、これを許可することとなります。傍聴の方々には、傍聴者の遵守事項を遵守していただきますようよろしくお願ひいたします。

それではまず、事務局より資料の確認をさせていただきますので、よろしくお願ひします。

事務局 それでは、事務局から資料の確認をさせていただきます。本日も多くの資料を配付させていただいておりますので、よろしくお願ひいたします。

まず、次第でございます。それから、別添1といたしまして席次表、裏側、別添2といたしまして委員及び参与の名簿となります。

次に、資料でございますけれども、資料1といたしまして、A3横の「中原区区民会議 課題調査部会 検討シート 検討テーマ『まちの魅力を見つける』」でございます。

資料2といたしまして、同じく「中原区区民会議 課題調査部会提案 検討テーマ『まちの魅力を見つける』 取り組み事項(案)」でございます。

資料3といたしまして「『まちの魅力を見つける』魅力項目(分類別)」の表になります。

資料4といたしまして「中原区区民会議委員があげた魅力ポイント(あなたにとって魅力あるところはどこですか?)」は地図になっておりまして、カラーで印刷されたものでございます。

資料5といたしまして「中原区区民会議 検討テーマ『地域で取り組む放置自転車問題』の取り組み事項」は、表、裏印刷となっております。

資料6「中原区区民会議 検討テーマ『これからの地域コミュニティづくりを考える』の取り組み事項」はホチキス留めになっておりまして、表、裏で3ページとなります。

次に、参考資料でございますけれども、「平成21年度第2回中原区区民会議課題調査部会会議録」が参考資料1でございます。

参考資料2といたしまして「平成21年度第3回中原区区民会議運営部会会議録」でございます。

続きまして、参考資料3が「『まちの魅力を見つける』委員アンケート集計(質問別)」でございます。

参考資料4といたしまして「22年度 事業を募集します! 中原区市民提案型事業」の募集要項となります。

参考資料5といたしまして「中原区まちづくり推進委員会アンケート」でございます。

参考資料6といたしまして「なかはら地球にいいことプロジェクト」についてでございます。

参考資料7といたしまして「『地域で取り組む放置自転車問題』の活動報告」でございます。

参考資料8といたしまして「7区区民会議交流会について」でございます。

最後になりますが、参考資料9といたしまして「第2期中原区区民会議のスケジュール及び審議の流れ」でございます。

以上でございますが、皆さん、お手元に資料は全てございますか。

司会 お手元の資料について確認をさせていただきました。

それでは、ここからの進行は委員長にお任せしたいと存じます。どうぞ委員長、よろしくお願いいたします。

藤枝委員長 皆様、こんにちは。今年初めてということで、何回も聞いていることと思いますが、改めて、明けましておめでとうでございます。また、稲富委員、これからよろしくご協力のほどお願いいたします。

2 会議録確認委員の選任

藤枝委員長 では、次第に従いまして議事を進めたいと思っております。

それでは、議事に入ります。まず、会議録確認委員の選任ですが、前は藤嶋委員と本目委員が担当していただきましたので、順番でいくと、恐縮ですが、今回は松原委員と松本委員にお願いしたいと思っておりますが、いかがですか。 じゃ、よろしくお願いいたします。

3 議題

(1) 課題調査部会報告 ~ 課題解決に向けた取組みの提案及び意見交換 ~

藤枝委員長 それでは、早速議題に入らせていただきます。

前回のテーマは、割合身近なテーマを選んだせいか、アンケート1つをとっても今まで以上にすごく数が多かったなと思っております。前回の10月に、今回のテーマ「まちの魅力を見つける」について第2回区民会議を開催しましたが、その後、課題調査部会と運営部会を開催しております。ここでは、課題調査部会長である竹井副委員長に話し合われた内容をご報告いただきまして、区民会議としての本テーマに対する取り組み案をまとめていただきますので、ご説明いただきたいと思っております。じゃ、竹井副委員長、お願いいたします。

竹井副委員長 では、皆さん、こんにちは。本年もまたよろしくお願いいたします。

では、資料1、2、3、4を中心に報告させていただきます。11月13日に課題調査部会、6名全員に出席していただきました。また、12月21日には運営部会ということで「まちの魅力を見つける」について審議を行いました。その結果をこれから報告させていただきます。

資料1は、10月の区民会議本会議でもありました内容をまとめたものでございます。本会議では、中山さんから「魅力を考える視点」というお話をいただいて、あとは資料1の真ん中ですけれども、区民会議の中の議論をまとめたものでございます。地域の中で大切に守り、次世代に残し伝えていきたい魅力とか、中原区を訪れる区外の方々にアピールしたい魅力とか、中原区のお気に入りの場所、思い出の場所、または中原区の自慢に思うも

のということで、アンケートを含めまして皆さんの意見を伺いました。

その議論の結果が右の欄にまとまっておりますけれども、魅力を発信するにあたっての課題・検討事項ということで、中原区は、大きな都市と言えるかもしれませんが、いわゆる観光地ではありませんので、自分たちがこんなに中原のことが好きで、誇りに思っているみたいなことをみんなで共有することが大切であるとか、どんなに魅力があっても、素晴らしいものがあっても、受け取る側の気持ちに余裕がないと目に入ってこない、感じられないこともありますねとか、魅力を支えている人々、また魅力をつくっている人々にスポットを当てる必要があるのではないかと。また、いろいろ挙げられた魅力について、漏れや偏りはないかという視点も大切だなということがありました。

あとは魅力の発信・共有方法ですけれども、今回は冒頭区長のごあいさつにもありましたとおり、特に新しく住まれた方に中原区の魅力や歴史などを知ってもらうことで大きくPRできたらどうかとか、あとは区役所を使いまして魅力スポットの写真展などを行ったらどうかみたいなご意見もありました。

また、課題に対する取り組みの方向性としましては、区民会議が「魅力を集めている」というメッセージを発信することで、余りそういうことを考えていなかったような方々にも魅力が伝わればいいのか、そういう意味で、本日ここにいる第2期区民会議のメンバーで選んだ魅力ということではないのかとか、最終的には中原区のことをよく知って、魅力を感じていただいて、町に愛着を持って、その町を大事にしたいというような気持ちを持つことによって、いろんなボランティア活動とか、地域の活動とか、みんなでよりすばらしい町にしていこうという気持ちが生まれればいいのかなどというのが、「まちの魅力を見つける」での1つの到達点かなという意見もございました。

以上のことを部会等でお話しして、今後の取り組みの方向性ということで、資料2ですけれども、表の形でまとめております。地域・区民・区民会議の取り組み、または区民と行政の協働による取り組みという大きく2つの取り組み方ということで整理しておりますけれども、1つは、みんなでやっていくことということで、まちの魅力の発信・共有ということで、資料3では一覧表になっておりますし、資料4では中原区区民会議で取り上げた、見つけたといいますか、挙げた魅力ポイントを地図の形で整理していただいております。地域的に漏れなくということまでは難しいですけれども、大体の地域に何らかのものがあるなということで、いろいろ追加させていただいたりしてまとめております。こういったような取り上げた魅力に対して、区民会議ホームページとか、または各委員の出身団体でまた紹介していただくことで多くの方に魅力を知ってほしいなということが1つです。そういうことで、郷土意識の醸成とか、先ほど言ったとおり、町に愛着を持っていただいて、町を好きになって、町をより良くするための活動にするきっかけづくりになればいいなというのが1つ目でございます。もう1月ですので、21年度としては3月までですけれども、そういったことを情報発信していきたいというのが1番目でございます。

次は、区民と行政の協働による取り組みということでは、表の真ん中から始まりまして、7つほど挙げておりますけれども、なかはらの歌による魅力の発信・共有ということで、先ほども冒頭音楽が流れておりましたけれども、「この街のどこが好き？」という区制30周年の記念につくられたいい歌ですので、そういった歌を聞くことによって少しでも中原区のことを感じていただく、いろんな機会を通じて発信していきたいということで、既に丸子地区の商店街では商店街でのPR活動にも使っていただいたということですし、また3月13日、横須賀線新駅ができるイベント、地域交流促進イベントというのが正式名称ですけれども、そういう場所でも演奏することによって、そういう歌があるんだよというのを知ってもらうというのが1つでございます。

また、写真によるまちの魅力発信・共有ということで、目に訴える、感性に訴えるような写真というのが1つ効果的かなということで、市民提案型事業についても、そのテーマで企画、実施していただける団体を今募集中で、そういった団体が中心になって写真による情報発信をできたらなというのが2つ目でございます。

資料2の裏面に行きますと、中原区魅力紹介冊子による魅力の発信・共有ということで、昨年度、平成20年度市民提案型事業で区内観光ガイド育成推進事業が実施されまして、その報告書の形で現在、区内のいろんな魅力みたいなポイントが整理されておりますけれども、それを区民向けに配布できるような形で作り直しまして、それでいろんなポイントがありますよという、多分資料4の地図の1件1件の詳しい紹介になるかと思えますけれども、そういったものを配布していくというのが3つ目でございます。

あと、映像による魅力の発信・共有ということで、既に各地の映像を使って取材を行いながら、広報用映像を区役所でつくっておりますけれども、それを発信していくことによって映像で訴えると。区民会議の中でも1階のフロアでそういった映像を流すことができないかみたいなことも1期、2期を通じてあったかと思えますけれども、そういう映像を使って魅力を発信していくというのが4つ目でございます。

次、二ヶ領用水竣工400年記念事業と連携した魅力の発信・共有ということで、平成23年ですので、来年の3月、二ヶ領用水は竣工400年を迎えます。今、実行委員会形式でいろんな事業といたしますか、イベント等を計画していると聞いておりますけれども、そういったものと連携しながら、中原区の中でも二ヶ領用水というのは大きな自然の財産ですので、そのようなものをアピールしていくというのが二ヶ領用水関係でございます。

また「歴史と緑の散策マップ」ということで、なかはら20年構想委員会という委員会をつくっておりますけれども、その中で、二ヶ領・渋川コースの部分をもう1度見直して、少し内容を濃くして、この竣工400年を契機に最新のものに改訂することも計画の中で挙げております。

最後から2つ目、地域の音楽資源を活用した魅力の発信・共有ということでは、区内は、学校、企業、アマチュアのプラスバンドなども本当にたくさんあって、ほかの区にも

負けないほどの音楽の資源があるかと思えますけれども、先ほど言いましたような武蔵小杉新駅の地域交流促進イベントなどの機会をとらえて、そういう音楽資源を活用した魅力発信を行っていききたいというのが6つ目でございます。

最後、市政だより中原区版による魅力の発信・共有ということで、全区民に伝える手段として、市政だよりは全戸配布ですので、やはり1つの有力な広報ツールですけれども、その中で連載「この街のどこが好き？」を活用して、今もいろんなスポットの紹介なんか載っておりますけれども、それをさらに使いまして中原区の魅力を紹介して、多くの方に伝えて共有していく。

以上の8つの項目で、事業といいますか、今後の進め方、取り組みとして整理したものとして報告させていただきました。いずれにしても、先ほど1月1日現在で22万9871人でしたっけ。本当に多くの市民、区民がいるわけですけれども、やっぱり1人1人の区民が自分の住む町を魅力あるものとして感じていただいて、その中で愛着を持って、いいまちづくり、いい地域づくりを少しでも考えてほしいというのが「まちの魅力を見つける」の大きな到達点かなと思いますので、そういうことで、この8つの事項に取り組んでいきたいと審議いたしました。

藤枝委員長 竹井副委員長、ありがとうございました。この間の専門部会で議論された内容をご報告いただきましたけれども、その結果として、区民会議の取り組みについての提案をまとめていただきました。提案内容などについては皆様からのご意見なども伺いたいと思えますけれども、資料4などの地図を見ますと、中原区にはこういう魅力があるものがいっぱいあるということが一目瞭然でわかりますね。一般の方が見られても非常にわかりやすいのではないかなと思っております。

この間、皆様のいろんな意見をお聞きしましたので、本日は大分時間をとって、委員の皆さん、全部の方からご意見を伺う予定であります。本来ですと、稲富委員から順にご意見をいただくのですが、初めて参加されたので、反時計回りというか、逆時計回りでいきたいので、吉房委員からお願いいたします。

吉房委員 ご指名でございますので、それでは、私から。魅力について、これは皆さんと一緒にかなり意見の交換をやってきたわけですが、資料4を見ますと、まだまだいっぱいあります。まだ抜けているところがかなりあるんですが、先日、私、ちょっと言ったんですが、今皆さんのほうから、いろいろと中原の魅力を吸い上げて資料にしたい。その資料は、やはり自分たちの住んでいる周り、また周りのことがほとんどではないかなと思っております。

1つは、先日齋藤課長にもちょっと話したのですが、何か抜けているところが1つ。私、欠席しまして言い忘れたのですが、この資料に載っていることは事実なんですが、1つは中原の一番南ですね。いわゆる日吉台、井田山、長寿荘、あの辺が1つの中原の、今現在私が住んでおりますけれども、今から8000年ぐらい前に私たちの先住民があそこに住

んでいたことは事実だ。1万年前は海だった土地がだんだん堆積しまして、あそこに横穴の居住跡、いろんな遺跡が出てきて、時代がずっと下がりまして、今の長寿荘のところには城があったんですね。あれは城址なんですけど、そのようないろいろな歴史があることに私たちは目を向けていかなかったな、魅力の中に入っていなかったなという、齋藤課長に言ったことは事実です。中原といいますと、どうしても多摩川、二ヶ領用水、そういう方面に向いてしまうのですが、やはり私たちは、中原の一番のご先祖、また先住民が住んでいたことを魅力として忘れてはならないと思ったので、これをぜひ入れてもらいたい。今回はこれが入っておりますので、非常にありがたいと思いました。でも、あそこはいろいろと研究しますと、さらにもっともっと遺跡とか、いろんな古墳だとか、8000年、7000年前、それから、今から600年くらい前のちょうど北条家が滅びた当時の遺跡だとかがあるんですが、その方面もこれから魅力ある中原の一部として取り入れていきたいと私は思っております。

もう1つは全くかけ離れた話ですが、今は人間対人間の関係が希薄になっておる状態です。隣に誰が住んでいるか、全くわかりません。昔は、昭和15年、16年当時の一番の人間対人間のきずなというものが、1つは回覧板だったのです。それは歌にもあったんですが、その歌を私がここで言うてもしょうがないですが、私の年代の方は回覧板で人間対人間の動きとまた生活、そういう方面がいろいろとわかった時代があったんです。昭和16年、15年当時は米の配給、その後、昭和18年から19年になって、そういう回覧板で、生きていく上で非常に貴重な、また人間対人間のきずながすごく強くなっていったような気がします。今の中原区では、回覧板が、一番多いときには18種類くらいあって、上だけ見て、ぼいと捨ててしまうような 捨ててしまうと言うのはちょっと語弊がありますが、なかなか見ていただけない。そういう回覧板を中原の魅力の1つにして、昔に戻ることはなかなかできないとは思いますが、何かそういうことがぴんときて、回覧板を見て、お互いの生活のことがわかる 生活と言うとちょっと語弊があるんですが、中原の動きが明確にわかるような特殊な回覧板を1つつくって、どこにもできないような回覧板を考えてもいいのではないかなと私は考えております。

急に今、委員長から言われたんですが、ちょっと思い出しまして、つじつまが合わないことを言ったんですが、そんなことでこれからひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。よろしく。

藤枝委員長 どうもありがとうございました。今、吉房委員が言われたのは点線囲いである神庭遺跡ってありますね。あそこをもう少し、今度企画課でまたよく研究されたら、もっと充実した内容になるのではないかなと思ひます。

では、横川委員、お願ひします。

横川委員 「まちの魅力を見つける」ということを目標にして、皆さん、いろいろ挙げてきまして、住んでいて、こんなにもたくさんの魅力がこの町にあるのかと思ひて、本当に

びっくりいたしました。今まで自分の周りしか見ていなかったものですから、本当にこれだけのものが出てきたら、今度はこれを土台にして、それなりのたたき上げで皆さんがいろいろと考えて、より発展させていこうというのは大変なことだと思うんですけども、たくさんの中からどうこうではなくて、私は自分の町会の中でコミュニティといって、お年寄りの方を月に1回くらい集めているというお話を聞きまして、集まった方たちからちょっと聞いてみたんですけども、いつも同じ顔ぶれだと、幾らお年寄りといっても、やはりあきてしまうんですね。2回くらい行ったら、もうつまらなくなったと言うんです。だから、集めるからには、やっぱりリーダーというのは話術が巧みで、そして表情が豊かで、年寄りをあきさせない。1時間でも2時間でも自分の手の中に入れて、思うようにお話ができるという、ご自分も勉強してから集めるほうがよろしいのではないかなと思うんですよ。

初めは老人会を中心に集まって、丸子では9つの町会があるんですけども、集まってみると、ただお話だけで、そして仲間の悪口なんかが出てきたりすると、つまらなくなると思うんです。だから、それを上手に展開していくリーダーの資質というのが、やはりそういう場をつくる時には問われるのではないかなと思うんです。

川崎は、ほかの土地と違って、音楽のまちと言うだけあって、音大が2つもある。そして、各中高のブラスバンドでも何でも非常にレベルが高いんですね。ですから、ほかの地域、東京とか、あちらのほうから見ると、学生の犯罪が非常に少なくて、とてもそれはすばらしいことだと思うんです。

きょうは急に、何を視点に話していいのかななんて思いながら……。

藤枝委員長 きょうは自由な意見ですから。

横川委員 そんなところで、身近なものに手を差し伸べていきたいなと思っています。

そして、中原には、綱島街道とか、御殿町とか、昔、徳川が狩りをしたとかといういろんな歴史がありまして、今年は開催してから10年目になりますので、鎌倉とか、ああいうところとも提携して、市長同士が何かやるようなことをおっしゃっていましたので、そういう歴史的なものを大事に育てていきたいなとは思っております。ご協力できるものがあつたら、若い人の意見を聞きながらやっていきたいなと思っています。どうぞよろしく。

藤枝委員長 ありがとうございます。今、横川委員がおっしゃったのは中原街道時代まつりですね。

横川委員 はい、そうです。時代まつり。よろしく。

藤枝委員長 じゃ、山川委員、お願いします。

山川委員 私は先日、犬を散歩しながら NECの非常にすばらしい町並みと高層ビルが建っています。そこをある程度散歩の道にしているんですけども、高層ビルの中で犬を飼っていて、散歩している方とちょくちょく会うんですけども、中原区に引っ越してきて、犬の散歩では高層ビルから向河原駅の踏切を渡って多摩川へ行くと。毎朝、夕方散

歩しているそうですが、こんなに素晴らしい多摩川があると、非常に多摩川の魅力にとりつかれて、毎日散歩に行っていると聞いています。他に中原区にはどういうところがあるんですかと聞かれまして、地元には日枝神社があるし、中丸子神社もありますよ、こういうふうな歴史がありますよと紹介しています。住民もただの行き帰りではなくて、地域に溶け込んでいけるような形で、このような魅力があるということを発信していただいて。そうすると、中原がいいんですよということを私は感じて、最近そのように奥さん方に話しております。まだまだ住民は増えると思います。中原区は非常に緑が多いし、多摩川もあるし、非常によろしいですよと紹介しています。

藤枝委員長 ありがとうございます。

じゃ、矢野委員、お願いします。

矢野委員 私は、地域住民というより、地域の法人代表で来ているということを前にも申し上げましたけれども、本日この地図を見させていただいて、点線で囲まれているところは現存しないものと書いてあるんですが、実は私、法人会でも向河原駅から平間駅までの間の玉川ブロックを担当しておるので、結構近隣を歩いてはおるつもりなんですけど、こちらの平間の七まがり道とか野口家の水車。野口さんというのはこちら辺の地元の有力な方のはずなんですけど、まだまだ知らないことが結構載ってありました。

ここの中では武蔵小杉駅、ちょうど一番端っこのほうが私どものエリアになるんですが、これが3月13日ということで商店街連合会などが、松本 等さん（小杉駅周辺再開発地区地域交流促進イベント実行委員会 会長）のほうの主催でお祭り、イベントをやるって伺っております。先ほど区長から2万1000人ぐらいの転入があったということなんですけど、駅が完成して、アクセスがこれだけよくなりますと、なお一層、転入に拍車がかかるのかな。あの近辺の高層マンションを含めたところはまだまだあきが結構あるようでして、まだ明かりのついていない部屋が随分たくさんあります。事前の準備が知りませんけれども、コンビニや何かもビルの下のほうにはもうでき上がっていて、オープンスタンプの状態になっておるようなところなんですけど、転入の方が多いいということになりますと、区としての魅力とか云々という話にちょっとうといといいますか、知られていない形が多かろうと思いますので、先ほど区役所の中での提示、啓蒙ということがありましたが、いま1つそういった方への先ほど回覧板の話も出たんですけど、マンションは回覧板ってどうしてありますかと思っているぐらいなところがあります。セキュリティがかかっていて、中にも入れないような建物でございますので、そこら辺の広報活動的なものがこれから非常に必要なのではないかなと今一番思っています。自分の会社もこの真っただ中におったものですから、ほんの数年前と変わってしましまして、もともと工業地帯だったものが住居地区に変わってまいりました。時代の流れで、やむを得ないところではあると思うんです。私どもも工場は移転したんですけども、それにとってかわっての話になるんですけど、町並みはきれいになったかと思えます。ただ、入ってくる人たちがみんな

新しい方、もともと土地の人ではない方もいらっしゃるかと思いますが、そこら辺に対しての広報は、これからの一番重要なことではないかなと思っています。

藤枝委員長 ありがとうございます。確かに工業都市の川崎というイメージがいまだに世界的に有名なのか、いつか阿部市長が言っていたけれども、川崎市と言ったら、あのオートバイの川崎ですかと言われてしまったと言うんですね。音楽のまちって、大分今張り切って、昭和音大とかいろいろできていますけれども、これから楽しみだと思えます。

じゃ、松本委員、お願いします。

松本委員 こういうさまざまな魅力の情報を知識だけではなくて、実際にその場に行って、魅力を体感することが必要だと思うんです。1人で行くのもいいんですが、できれば区民みんなで足を運んで会話をするというところで、やはりそこでコミュニケーションが図れると思うので、魅力のあるところに行く気にさせるような発信をしていく、みんなを誘って行くようなことをしていったらいいのではないかなと思うんですね。今回、市政だよりの中原区版にすぐろくが載っていましたがけれども、やはり行った気になるような遊び心を取り入れながら、行ってみたいな、一緒に行きたいなというような趣を持って、皆さんにどんどん発信していくことが大切なのかなと思います。

藤枝委員長 ここへ来る前に子育てのほうをちょっとやってきたんですけども、いつもうちの社協では小学生。きょうは6年生を2クラス呼んで、赤ちゃんをだっこさせたりして、すごく反響が大きいですよね。今は意外と赤ちゃんを抱く機会がないのではないかなと思うんですね。

じゃ、松原委員、お願いします。

松原委員 私は中原区に生まれ、70年以上ここに住んでおりますけれども、こんなに中原区には魅力がいっぱいあったのかなと、今さらながら感じています。しかし、川崎市の7区の中でもこれから一番伸びるとされている中原区を、どんな形で、どういうふう知ってもらおうか、このことに非常に責任を感じているような現在でございます。先ほどいろいろ報告がございましたけれども、ここに区民会議だよりというのが配布されました。これを町会に見せたところ、新しく住居を構えられた方が、中原というのはこんなにすばらしいのかね、家族で探索に行こうなんて言うておりましたけれども、すばらしい魅力がたくさん詰まっている中原を我々はもっと真剣に考えてPRしなくてはいけないかなと思っております。

藤枝委員長 区民会議のPRですね。前から取り組んでいるんですが、まだまだまいちで、もう少し頑張りたいたいとかねがね思っております。

若手の代表、どうぞ。

本目委員 2つ提案がありまして、まず1つが、このマップを見て私自身が感じたのは、余りに魅力が多過ぎて、どこから見ればいいのかわからないということだったんですね。なので、余り中原区に詳しくない人向けには3つぐらい。中原区、これだけは知ってほし

いみたいなところと、あとはベテラン向けのこんな穴場があるよという魅力の2段構えで雑誌とか 紹介雑誌をつくるというふうに書いてありますけれども、そういったところに載せていくと、よりいろんな人が楽しめるのかなと思います。

もう1つは、写真によるまちの魅力の発信・共有という取り組み内容でありますけれども、せっかくなら、写真だけではなくて、中原区の魅力は人であるという意見も以前あったと思うので、町の魅力のエピソードのコンテストなんかもあると、より人の魅力ですとか町の魅力が伝わるのかなと思いました。

藤枝委員長 やっぱ素晴らしい視点ですね。ありがとうございました。

じゃ、藤嶋委員、お願いします。

藤嶋委員 私は中丸子に住んでおりまして、中丸子は玉川地区が何か少ないのではないかとということで、野口家の水車、平間の七まがり道を提案させていただきました。そして、今はないんですが、そこに立て看板とか説明の看板が欲しいというふうに運営委員会でお話ししましたら、そういうものは私たち市民の中からそういう声が上がってつくるべきではないかというような意見をいただきまして、本当にそのとおりだと思ったんですが、もしできましたら、この区民会議でそういう歴史的なところも取り上げていただけたら、私1人の力とか、私が起こすということはちょっと不可能な感じなので、やっていただけたらありがたいと思っております。

平間の七まがり道というのは、中原街道と同じで並行にできているんですが、小田原から江戸のほうへ攻めていく裏街道として7つ曲がっていまして、先日、行ってみましたら、まだお地蔵様とか庚申様もありますし、八幡神社とか、ああいうところもありますので、今あるうちにぜひ取り上げていただきたいと思っております。そのことについて私は、20年前に「文化かわさき」で発表させていただいております。

また、野口家の水車は関東で一番大きい水車なので、今の当主のその前のお父さんが自分のところの地図を描いてくださったんですね。そうしたら、そのとき郷土研究家の白井禄郎先生がびっくりなさいまして、私もそんなに大したあれではないと思ったら、これはすごいと言っていたいて、それきりになっております。

それとあと、ガス橋というのもとてもみんなの思い出が深くて、あそこを渡った方、ガス管が通っていて、穴が開いていてという話もよく聞きますし、平間の渡しがとても活躍した時代もあったんですね。歴史的なことだと今は実存しないんですが、せめてそういうものがあったことを後世の子どもたちに知らせることができたらありがたいと思っております。もしできますならば、私、書いたものを今まとめておりますので、まとめましたら、ご協力していただける方、何か力をおかしいただけて、こういうふうにするようにと指導していただける方がありましたら、ぜひお願いしたいと思っております。

藤枝委員長 ありがとうございました。昔のガス橋を渡られた方が何人いらっしゃるかわかりませんが、本当に自転車1台だけの 下は今と同じようにちゃんとできてい

るんですね。ただ、幅がこれぐらいしかない。だから、自転車のすれ違いができないくらい狭い橋でした。今、傍聴席に前回講師でいらした中山さんがいらしていますが、今の藤嶋委員の意見なんかもいろいろ参考にして、またよろしく願いいたします。

では、芳賀委員、お願いいたします。

芳賀委員 この地図にいっぱい載っておりますけれども、まだまだ中原の魅力っていっぱいあると思うんですよ。もう本当にこれに載せ切れていないのではないかなと思います。ちょっと今気がついたのでは、下小田中に安楽寺というお寺さんがありまして、そこらには昔、自習学校という塾があったんですね。それが中原の教育の始まりではなかろうかとも言われているくらいで。ただ、お寺に行きますと、当時の経机が今でも残っているんですよ。いろんな学舎が中原地区には成立したんですけども、生徒が学んだ経机なんか残っているお寺はおそらくないと思います。西明寺にも、大楽院にも、高元寺にもありませんから、あそこだけだと思うんですね。ちょっとその辺も今度加えていただければと思います。

それと、中原の魅力が、これができ上がったというのは、ただ地形的なことだけでなく、やっぱり先人たちがいろいろと苦労して、いろいろなものをつくったから、こういうものが残ってきたんだと思うんですよ。ただ単に、等々力緑地なんて、多摩川の三角州だよ。単純に言ってしまうえばそうなんですけれども、実はそうではなくて、あれは瀬がえという人的な行為をして川を変えたので、あそこにああいう緑地ができたということ、その後も砂利を取った穴が池になってしまった、それを埋め立てて今の緑地になったという、歴史的に見ても、その時代時代のいろいろなあれがそこに絡んでいるという魅力があるんですよ。ですから、単に今、形だけでこれがこうだというのではなくて、そこら辺の内面もご紹介できるようなことになればいいかなと思っています。

藤枝委員長 ありがとうございます。昔、あそこは東横水郷と言っていましたよね。

じゃ、内藤委員、どうぞ。

内藤委員 2点ほどあります。

1点は、本日の資料にしても、こちらの区民会議だよりも、中身に反対するとか、これを否定する方はこの席にはいらっしやらないと思います。みんなすばらしいなと思っていて、これは確かに中原にある魅力をみんなで見つけ出したんです。ただ、若い人たちが、私はふだん子どもたちと一緒にものですから、小学生、中学生、高校生がこれを同じ気持ちで見ているかという、多分見ていないと思います。ですので、まず1点目は、こういう大人の我々が調べた地元の財産を子どもたちに伝えるという意味で、この資料を区の学校や、幼稚園や、ぜひそういう場所にお配りいただいて、子どもたちにも知らしめてほしいというのが1点。

2点目が私の言いたいところなんですけれども、じゃ、この場所があって、中学生、高校生、10代、20代の人に「ここに行きますか」といったときに、お金を払ってでも行くの

は、正直言ってフロンターレの試合ぐらいではないかと思うんですよ。ということは、本当の意味で、10代、20代、30代の人たちの憩い集える場所が武蔵小杉周辺にあるかということ 皆さんだってそうではないですか。例えば、今日は家族みんなで委員長の誕生祝いをやる、誰かのうちの結婚記念日をやるといったときに、この近辺のレストランでお食事しますか。こんなことを言っでは申しわけないんですけども、ちょっと財布を緩めようと思うと、どうしてもこの武蔵小杉、中原から出ていきますよね。つまり私が言いたいのは、この区民会議としては、次の若い世代に伝えるために、魅力をつくり出す努力というものをごひ項目として挙げていただきたい。今ある魅力を見つけ出す、これはもういろいろな形で、歴史の好きな方、地図でいろいろ散策が好きな方がいっぱいやられています。だけれども、武蔵小杉再開発について、今後どんな形でここに若者が集えるような施設ができるのか。だから、そういう面で、市民と行政が一体となって魅力をつくり出す努力という1つの意思をできれば持っていたいただきたい。

例えばですけども、先ほどの川崎市ではないですけども、「音楽のなかはら」とか、「スポーツのなかはら」とか、「文化のなかはら」とか、「健康づくりのなかはら」とか、「子育てのなかはら」でも構わないと思うんですけども、日本全国で子育てのことに關しては中原区に聞けば、見に来れば、すごくいろんなことがあるとか。あとは、私も出身がそうなので、「ボランティアのなかはら」とか、何かもう1つ、ここにある土台の上に、次の世代に僕らがつくり出せるものを考えるような機運をつくっていただきたい。できれば地元で自分たちの父親の誕生日を祝えたり、また家族でコンサートに行けたり、観劇ができたり、何かそういうお金を落とせるような武蔵小杉にいい意味でなってもらえればなど。

私は、子どもさんたちが遊びに行く渋谷や原宿みたいなものがここにできればいいとは全然思っていない。それはもう全然別問題で、そうではなくて、文化であったり、親子のきずなを確かめられるような場所であったり、これは行政のトップとか町の実力者のアイデアとか実行力が、最終的には武蔵小杉を中心とする中原のまちづくりの本当の大きな魅力をつくると思うんですよ。今、小杉がこれだけ変わろうとしているときにそういう機運があれば、皆さんで力を合わせれば、次の若者にいい意味で残せるようなものが、横須賀線新駅あたりの、今は空いていても、埋まってしまおうのがちゃんと決まっていると思うんですけども、何かそういうものができればなどというのを私は提案したいと思います。つまりこの区民会議が次の若い人への夢への土台づくり。私も還暦を過ぎたんですけども、今ここにいる還暦を過ぎた人が、うんうん、納得できる、いいね、確かに自分の住んでいるところを探せばいっぱいあるねという幸せ感を味わうだけではなくて、やっぱり次の世代に中原だからある魅力というものをつくる気持ちを私は皆さんにお持ちいただきたいという発言をしたいと思います。それには、さっき言ったんですけども、繰り返しますが、行政サイドのトップとか町の実力者のアイデアと実行力、私たちはそれのお手伝

いができればなと思っております。

藤枝委員長 ありがとうございます。昔、再開発協議会を立ち上げたころ、いわゆる二子玉を倣って何かつくろうって、1年間ぐらいさんざん協議したんです。その結論はMUSACOだったんですよ。そうしたら、非常に心証が悪くて、ぼしゃになりまして。時々今もMUSACOという言葉は出ているらしいんですけども、どうもいまいち。さんざん議論して、我々年寄りだけでなく、高校生まで入れているんな候補を10項目ぐらい1年かけて絞って、投票でやったんですが、MUSACOはだめでしたね。やっぱりひとりでわいてくるものでなければだめなんですね。上からおっつけても絶対に。

じゃ、富岡委員、お願いいたします。

富岡委員 私は、先ほど内藤委員がおっしゃられましたように還暦を過ぎまして、この表を見まして歴史を感じました。60年過ぎまして、これだけの変化があるというのはとても素晴らしいことで、それがみんなよいほうに向かっておるので、本当にうれしく思っております。

私が小学生のころは、丸子橋の渡しのところにオートレース場がありまして、そこで毎年花火がありまして、3時ごろにごさを持って陣取り合戦に行きまして、そこで夜の暗くなるまで待っております、花火を楽しんだような歴史がございます。

向河原駅の辺はほとんどサツマイモ畑とか、そういった畑が多くて、あのような人家があるというのは本当にすごいなと思っております。

井田山もすごく変わりました。昔は雑木林だけだったところが、あれだけ人家が増えまして、開発がされました。それもすごいなと思っております。

二ヶ領用水も、私が子どものころ植えているのを見ておるような、本当に50年以上の歴史を感じるわけがございます。先ほどこの資料を見ておりましたところ、二ヶ領用水竣工400年記念事業をやるということでございますね。400年といいますと、江戸時代ですよ。江戸時代にあれだけの川を人力でつくった歴史があるということを私は今まで知りませんでした。素晴らしいことだなと思っております。二ヶ領用水はその後にできた川でございますので、何とはなしに私は細い川が流れておるのを記憶しております。それからあれだけの改修工事をいたしまして、でき上がったところに桜を植えまして、あれだけの桜並木ができたということでございます。50年、60年たちまして、すごく歴史を感じたわけでございますが、中原は魅力のあるところがたくさんございます。

それと、南武線沿線にハイテク企業がたくさんあるということは、日本で第一の企業の町ではなかろうかなと思っております。

それから、再開発地域もとてもいいんですが、いろいろ課題はございます。課題はございますが、あれだけのものができ上がるということは本当に自慢していいのではないかなと思っております。そして、文化を進めていって、歴史をはぐくみ、一番大事にしたいのは心の問題です。ぜひ思いやりのあるまちづくりをしていっていただきたい

など私は思っております。社会福祉協議会の役員として、ぜひそういう福祉のまちづくりを進めていきたいと思っておりますので、ご協力のほどお願いをしたいと思っております。

ちょっと声がお聞き苦しいと思います。失礼をいたしました。ありがとうございました。

藤枝委員長 どうもありがとうございました。昔、スピードウェイって、あそこでオートレースをやっていたよね。僕らが花火大会へ行くと、花火師さんが子どもらに上げさせてくれたんですね。だから、随分あそこで打ち上げ花火をやらせてもらいました。今なら絶対できないでしょうけれども。

じゃ、杉野委員、お願いします。

杉野委員 今、富岡委員からも、委員長からもお話しございましたけれども、僕もこれをずっと見ていきますと、ほとんど1回は訪れているような感じがするんですよ。私も西丸子小学校とか宮内小学校がまだない時代の中原小学校のころからずっとこちらに住んでいるんですけども、魅力というのは、やっぱり1人1人の価値観がかなり出てくるんですね。確かにこういうものを窓口に置いておいて、そして新しく入居される方、こちらに転居される方に渡して、ぜひ訪れてくださいということはもちろんやられていると思いますけれども、そういうことも大切なことかなと思います。

あとは、僕、きずなというものを今1つのテーマとして考えているんですね。というのは、きずなの一番の根本はもちろん家族。重要なのは町会とか学校というもの。こういうところにこだわって、かた苦しいなという人は自分の趣味とか興味のあるもの。そういうところからコミュニティに積極的に参加、魅力的なサークルをつくって、そしていろんな方に集まっていたきたいという2つのやり方で進めていかなければいけないかなという感じがするんです。そういう意味で私は人とのきずなということ、あるいは趣味で結ばれる、自分の興味のあるものから結ばれていくような場をいっぱい与えて、提案していくことが重要なのではないかなと。そういうところに参加したいなという気持ちにさせるにはどうしたらいいかということそれぞれのサークルで考えていくことが非常に重要なことではないかと思えます。

以上でございます。よろしくどうぞお願いいたします。

藤枝委員長 ありがとうございます。杉野委員はコーラスのほうのサークルをやっておられるんですね。

杉野委員 そうなんです。いろいろとやっています。

藤枝委員長 じゃ、佐野委員、よろしくどうぞ。

佐野委員 中原区の中には、私たちの知らない魅力がまだまだたくさんあるんだなということを再発見させていただきました。この魅力をずっと維持していくことが非常に大事なことはないかなと思っております。また私も、どなたかがおっしゃっていましたけれど

も、還暦を過ぎました。年齢的には若いほうではございませんけれども、私たちが選んだところは非常にいいもの、だれが行ってもいいところだと思っております。また、中原区の平均年齢は40歳ぐらいと聞いていますので、年齢層によったその人たちの関心度はどこのかなということ、今この表を見て一番気になるところでございまして、関心別、年齢別、分類別、子どもはまた違う面で見ているかもしれませんし、そういうところでも1度、アンケートというか、皆さんから募集してみたいかな。写真展を開くというお話もございまして、そのときに有形無形な形で参加していただいて中原の魅力を再発見していただくとか、それをまた、若い年代で新しい魅力をつくり上げていただくような今後の施策が必要なのではないかなとは思っております。

人を育てること、中原には温かい人が多い、丸子温泉を挙げさせていただきましたけれども、丸子温泉だけでなく、この辺は地下を掘ると温泉がわいてくるんですね。若い人たちも非常に疲れていますので、スポーツジムですとか、温泉とか、結構いらっしゃるようなので、それをつくれということではないんですけれども、そういうことも必要なのかな、なんて思っております。

私、青少年指導員をやらせていただいているんですけれども、新駅ができます。溝口もそうであったように、そういうところに悪い温床、悪いものが入ってくる。薬物ですとか、乱れた人たちですとか、そういうものが入ってこないように私たちもしっかり見ていかなければいけないのかなとは思っております。中原区は、マンションだけでなく、集合住宅が80%と言われております。横浜ですとか、東京ですとか、いろんなところにどんどん近くなっていますが、本当に通過点、ただ寝に帰ってくるような状況になっておりますので、そういう町にしないように、私たちも魅力を発信しながら努力していけたらいいなと思っております。

藤枝委員長 平均年齢40歳、さっき内藤委員がおっしゃっていたこれからの魅力をつくらなければならないですね。我々の観点で見ると、どうしても年齢的に高いもので見ていますので。

じゃ、今度は写真の専門家の川連委員、お願いいたします。

川連委員 私は今、新丸子地区の4つ商店街の連合会副会長をやったり、単会の会長もやったり、区民会議の委員だとか、まちづくり委員だとか、めちゃくちゃにいろいろやっているものですから頭の中がにぎやかになっていまして、非常に難しいことを考える時間もないんですけれども、単純明快に。

前回の区民会議のときにも、私が1年半ぐらいかけて撮りました写真を皆様にも見ていただいたわけですが、その後、またもう1つ、中原の魅力にしてはどうかというものを見つけました。きょうも会場に入ってきたときに流れておりましたけれども、「この街のどこが好き？ なかはらの歌」。これは素晴らしいなと思ひまして、課題調査部会でぜひ中原の魅力の1つにつけ加えてほしいということで、行政側と話し合っ

あなたは商店街の出だから、まず商店街のほうから何とかPRしなさいというお話がありまして、中原区商店街連合会の正副会長会議がちょうどございましたので、みんなに話をいたしました。そのときに各地区の代表者にCDを1枚ずつ持っていただきました。その後、先日、今度は商店街の会長会議もあったものですから、またその話をいたしまして、そのときも9枚のCDをお持ち帰りになったという話を聞きまして、非常に嬉しく思っております。

去年の話ですけれども、丸子で歳末売り出しの抽せん会がありまして、その抽せん会にもがが「なかはらの歌」をかけてもらいまして、そこには大勢のお客さんが集まっていますので、この歌を知っていますか、この歌のCDがあるんですけれども、10人の方に差し上げますよと。ただ、何秒もかかりませんでした。あっという間に、みんな欲しい欲しいというので持っていかれて、まだ手を出している人がいたんですけれども、今日はもうございません、欲しい方は中原区役所の2階の企画課に行ってお話してくださいということで、こんなに素晴らしい歌があるのに、このままほうっておくのはもったいないので、これからもまた、一生懸命私もやっていきたいと思っております。

藤枝委員長 大分自転車のほうで活躍されているようで、ありがとうございます。

では今度は、PTA、学校の生徒さんとおつき合いがある大下委員、どうぞ。

大下委員 中原区PTA協議会から来ております大下と申します。

私は、現在もう既に中原区には、こちらの書面にさせていただいたとおり、それ以上に魅力があるから、先ほど区長のごあいさつでもありましたように、たくさんの方たちが中原区に集まってこられているのではないかなと思っております。実際そういった方たちも、既にもういろんな形で中原区のよいところを見つけ出されていて、それでこちらのほうに転居されているのではないかなと思っております。

私は、中原区のこれからの魅力の1つとして、先ほど内藤委員を初め数名の方たちにもお話しさせていただいたとおり、子育てのしやすい中原区ということで皆さん方にご協力いただけたらなと思っております。実は先日、中原区の小中学校だけなんですけれども、PTAの会長たちを集めて情報交換会というものを開催しまして、その席でも、それぞれの学校の会長たちは、それぞれの地区、地域の方たちとの交流で中原区の素晴らしい場所のことや言い伝えの伝承というか、お話をいただいて、とても参考になって、またそれを子どもたちにも話すことができたという報告をいただいておりました。皆さん、中原区に住まわれていることそのものには恐らく満足いかれている状態なんだと思うんですけれども、これはPTAの会合だったものですから、ちょっと心配になる点がございまして、その点をご報告させていただきます。

現在、人口が増えているというところで、地区によっても変われると思うんですけれども、今現在学校の行事等の活動、また日ごろの子どもたちの授業等にも騒音問題が浮上しているようで、一番心配だなと思ったのは、住宅地の中にある学校ということなんだと思

うんですけれども、体育館の暑い中でも、騒音問題によって、近隣の方たちからのご指摘があるということで、窓をあけることもできずに授業をされているような報告がありました。そちらのほうは、まず私たちができることから取りかかって、ぜひとも問題改善にと思っておりますが、この場をおかりしまして、出席されている方たちも何かの折を見まして問題解決にお力添えいただけたらと思っております。

今、話しながら思い出したんですけれども、こちらの書面には載っていませんが、西中原中学校という中学校がありまして、全国的にもマンモス学校ということで皆さんもご存じかと思えますけれども、先日校長先生とお話をする機会がございまして、来年度は、何と西中原中学校は40名のクラスが12クラス確定ということで、実はさらにお子さんたちがふえているという状況にあることを伺っております。

横川委員 学校のそばへ引っ越してくるなら覚悟することよ。学校は騒ぐに決まっているもの。

大下委員 そうですね。

藤枝委員長 子どもさんの声を騒音にするか……。それは騒音ではないんですけれどもね。昔、子育てというものを初めて中原区で立ち上げたとき、だれも「子育て」という言葉を知らないんです。今は日本じゅう、どこへ行っても子育てってメジャーになりましたけれども、子どもさんの声が聞こえたら一番いいと思うんだけれども、そう思わない人がいるんですよ。

大下委員 つけ加えさせていただいて、授業のほうも大変困った状態にあるということと、あとは行事等でも音響が響かないように、体育祭なんかでも競技に合ったような音楽というものが昔からあったではないですか。皆さんの中でも、きっと頭の中にふと流れると思うんですが、そういったものも今はほとんどなく、ちょっと閑散としたような状態の体育祭や運動会が開催されているような状態にあります。

藤枝委員 ありがとうございます。

稲富委員、どうですか。これだけ時間があるともう大分……。

稲富委員 ありがとうございます。中原区の働く者の代表で参加をさせていただきます。よろしく願いいたします。

中原地区連合という労働組合の団体になるわけですけれども、今ずっとお話を聞いておりました感じたことと、あと、自分たちでできることを少し話させていただきたいと思えます。

まず、本日見せていただきました魅力ポイントを見て、当然働くためだけに来る方もおりますので、働く場所しか知っていないということが多くあると思います。私もこれを改めて見まして、1度子どもと来て回ってみたらどうか…とも感じましたので、そういったことも少しやってみたいなと思っております。

1つこの中にありますハイテク企業、研究所が集中していることというのがあります。

て、まさしく通信とかコンピューターを中心にした産業は、この中原がすべて発祥の地になっております。私はたまたま富士通の組合の者ですが、富士通の研究開発、生産されるものはすべてこの中原区で設計されておりますから、我々のつくるもの、設計の場の発祥はすべてこの中原であると言って問題ないと思います。そういう意味では最近、事業仕分けで話題になりましたスーパーコンピューターの話がございましたが、あれも実はうちの話でございまして、世界最速の技術をつくっているのもこの中原であるということでありまして、余り一企業のことは言えませんが、ハイテク企業という意味では、そういった一面を持っているということに補足させていただければと思います。

実は私も、きょう来る前に、事前に「なかはらの歌」を聞かせていただいていたんですけども、非常にいい歌だなと思っております。どのような形で私たちがそれを広めていくかというのはあるんですが、たまたま私の会社では春まつりと、あとはクリスマスにクリスマスイベントをやっております、私たちの会社の合唱部とかブラスバンド部が披露させていただいておりますので、その中でこの「なかはらの歌」というのを活用させていただけたらなと思っております。まずは自分の会社でやってみて、ほかの会社でもできるのであれば、働きかけもしていきたいなと思っておりました。

全然話は変わりますが、私のところの組合員の方で、小杉ができて、小杉が大幅に目覚ましく変わっていく。川崎という今すごく躍動している町の中で、特にこの中原は大きな変化を遂げている、また歴史もあって、宝もいっぱいあるはずだと、「開運！なんでも鑑定団」という番組に投書した方がいるんですね。そのことについてテレビ局からは、作品の候補を挙げてもらえたら行きますという答えが来ました。やはり外から見ても、この中原の地は今魅力ある場所になっているんだと思っております。実際そのいただいた後、じゃ、どうやって作品を集めるかというのは一個人ではできませんので、そこでちょっと手をこまねいているところはあるんですけども、そういう形であれば、中原というところをあの番組を通して広く宣伝できると思いますし、歴史がありますから、またいろいろな宝が、エピソードも恐らくあると思います。そういったものをご公表するには仕組みとしてはいいのかなと思っておりますが、済みません、まだ状況もわからず話しておりますが、そういったこともやれるのかなと感じながら聞いておりました。

何せ初めてですので、この辺でお許しいたしますが、もしご意見等、あるいはまた、ご助言等ありましたら、よろしく願いいたします。

藤枝委員長 ありがとうございます。中原区は日本版シリコンバレーですね。すごい自慢できますものね。プラス歴史ですものね。

じゃ、まとめのほうを……。

鈴木副委員長 今シリコンバレーというお話が出ましたけれども、けさの日経に等々力工業会と明治大学が共同で開発した免震テーブル。現物を見えていますけれども、その記事が大きく載っておりました。これから美術館だとか、そういうところに受注の営業活動をす

るということで、もちろん富士通初め大きなハイテク産業がいっぱいありますけれども、何といても、ああいう小さいところで必死になって大学なんかと研究開発しているのが、実はこの中原の等々力の中にあるということ、とてもうれしく、けさは記事を読みました。

そういうことも含めまして、次の世代に何を残せるかということだと思えますけれども、もちろん歴史のことで、例えばここにこういうものがあったという看板とか、そういうのもある意味ではとても大事だと思いますけれども、形のないものを次の世代に、若い人たちが、ああ、こういう開発をやっているんだったら、等々力、中原に行って就職してもいいなと思うような町になってくれれば活気もつくなと考えました。

人のきずなということなんですけれども、学校の話聞いて、とても腹立たしいんです。私は今、西中原中学校のすぐ近くに住んでいますけれども、毎日元気な部活の声が全部ががん聞こえてきて、それを聞くたびに、よし、きょうも頑張っているな、私も頑張ろうという気持ちになるんですね。子どものいらっしゃらない方でも、かつては自分も子どもだったわけですし、そういうことに目くじらを立てないで、学校も余り萎縮しないで、どんどん近隣に逆にお声がけして、体育祭に来てくれとかやっていけばご理解を得ることができるのではないかなと思いました。

子育てのしやすい町というのは、一番有力なことだと思います。とにかく保育園が足りないということで、ぜひぜひそういう施設の整備も中原区で先駆けてやっていただきたいなと思いました。

藤枝委員長 ありがとうございます。

竹井副委員長 たくさんのご意見ありがとうございます。1つ1つ言うと切りがないんですけれども、今の子ども声の話で、うちの町内会も一戸建ての住宅が十何軒建ったときに結構30代の若い夫婦が入ってきて、今までその路地というか、通りは子どもの声なんかしなかったのが、ここ一、二年、子どもの声がたくさんしていいよって近くに住んでいる方が言っていて、やっぱり子どもが元気な町が一番いいはずなので、バランスよくいろんな世代が暮らせる町がいいなと今、聞いていて改めて思いました。

あと内藤委員が言っていた、ちょっと行きたいレストランがないねというのも、以前、マスタープランの計画の検討委員会的时候にもそういう話が出て、ちょっとおしゃれな店が欲しいみたいな。そこは10年たっても変わらなかったのかなとか思う反面、法政通りを行ったところの川沿いに今、日本茶のお店なんかができたりして、知っている人は知っているみたいところで結構できていますので、例えば江川せせらぎ沿いの沿線か何かで少しずつきれいな店ができるといいなとか、そういう自然が残っているところに少しずついいお店ができていけばいいなと。ここはぜひ商店の方に頑張ってほしいな。そこにビジネスチャンスがあるのかなとか思っていますので、さっきリーダーの強い行動力が必要だとかというような発言がありましたけれども、やっぱり1人1人が、内藤委員ではないです

けれども、魅力をつくり出す努力。今ある魅力を見つけていくのはもちろん、そこをベースにして、これからは1人1人が魅力をつくり出していく努力をしていかなければいけないし、それをみんなで支えて、足を引っ張らないでやっていけたらいいなと皆さんのご意見を聞いて思いました。

藤枝委員長 去年のお花見のときでしたか、偶然法政通りのある喫茶店でコーヒー1杯で3時間半粘ってしまったことがあります。たしか横川委員、ご一緒でしたね。時間がたち過ぎて、ちょっと気が引けてしまったんですが、そういうお店が法政通りも大分できてきて、あの辺は変わってきました。

さっき本目委員が言われた、もっとさっと見やすいというのも非常にいい意見でした。私ごとですが、たまたまうちの町会で今、町会名簿をつくっているんですけども、これをもって、僕はすぐ入れることにしました。知らない人がいっぱいいると思うので、これを見て、ああ、行ってみようかなと思う人が絶対いると思うので。

大体意見は出たんですが、今まで皆さんが話されたことはできるだけ取り入れることといたしますが、大筋でこの取り組み案についてはご了承いただいたということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、これを取り組み案とさせていただきます。

(2) 第2期検討テーマの進捗状況報告について

藤枝委員長 次に、第2期の区民会議では、今度は「地域で取り組む放置自転車問題」と「これからの地域コミュニティづくりを考える」という2つのテーマについて審議を行いたいと思います。各テーマの進捗状況について、事務局からご報告をお願いいたします。

事務局 まず、資料5をごらんいただけますでしょうか。こちらが第2期の区民会議の1つ目のテーマでございます「地域で取り組む放置自転車問題」の取り組み事項の進捗状況の報告の資料でございます。

まず、大きく分けまして、地域・区民・区民会議の取り組みと、裏面に区民と行政の協働による取り組み、その他課題ということで、取り組み内容別にまとめさせていただいております。

まず、自転車利用者に対するマナー・モラル啓発活動につきましては、(1)町内会・自治会をはじめとした地域によるマナー・モラル啓発活動を促進ということで、各町内会を通じまして、啓発用チラシを各戸回覧させていただいているところでございます。また、ポスターの掲出を依頼いたしまして、町内会の掲示板に張っていただいております。マナー・モラル啓発について取り組みを進めているところでございます。

(2)区民会議委員の出身団体におけるマナー・モラル啓発活動の促進のほうも、啓発用チラシを区民会議の委員の皆様のご関係団体に配布いたしまして、マナー・モラルの啓発を

促進しているところでございます。また、自転車と共生するまちづくり委員会等と連携して放置自転車台数調査等を行って、マナー・モラル啓発の資料として使っているところでございます。また、放置自転車台数調査につきましては、武蔵小杉駅周辺から新丸子駅周辺に拡大して調査を実施して、取り組みが進展しているところでございます。

(3)若い世代に向けた啓発活動の実施（例えば、ホームページなどの電子媒体の利用）につきましては、とどろき水辺の楽校、また自転車と共生するまちづくり委員会等がとどろき水辺の楽校、またカヌー教室等の中で、マナー講座ということで自転車のマナーについて子どもたちに向けた講座を行ったところでございます。

また、コンサート等のイベントの場を活用して、啓発チラシを配布するにつきましても、小杉桜まつりであるとか夏の交通安全週間、市民活動の集い、なかはら区民祭等で啓発用のチラシを配布して、マナー・モラルの啓発に取り組んできたところでございます。

また、ホームページなどの電子媒体を活用した啓発活動につきましては、区民会議ホームページ上、またFMかわさきの中で取り上げていただくなど、若い世代に向けた啓発について取り組みを進めているところでございます。

また、駅周辺の商店街における放置自転車対策の取り組み促進でございますけれども、新丸子駅周辺をモデル地区として、丸子地区商店街連合会、また中原区商店街連合会を中心に、年間を通じて取り組みを実行していただいたところでございます。こちらのほうは3月から12月までで、合計62日間、放置自転車対策の取り組みを実施していただいております。

また、商店街における放置自転車対策例といたしまして、中原区商店街連合会の総会の中で、地域で取り組む放置自転車問題について掲載されております中間報告書を配布させていただいて、商店街の中でご検討いただくための資料を配布したところでございます。

次、裏面になりまして、区民と行政の協働による取り組みにつきましては、地域における放置自転車対策の取り組みとの連携ということで、中原区役所と各団体で協力いたしまして、マナー・モラルの啓発に必要な物品の貸与、また東電横の臨時駐車場閉鎖に伴う新駐輪場への誘導、また、駅周辺の放置自転車対策の調査等を行っております。

また、交通安全キャンペーンと連携して区民会議の取り組みをアピールということで、昨年4月の春の交通安全運動キャンペーンへの参加を区民会議として行っているところでございます。

また、小杉駅周辺再開発地区をモデル地区として駐輪場への的確な誘導と利用促進キャンペーンの実施を検討につきましては、ことしの3月にJR横須賀線武蔵小杉新駅が開業されるということで、その駅前に新駐輪場もあわせてオープンするというので、こちらに合わせて取り組みを実行していこうということで、区役所と各団体で検討しているところでございます。

また、その他の課題につきましては、小杉駅周辺再開発地区をモデル地区として自転車

利用者動向調査の実施を検討ということで、区役所が中心となりまして現在検討を進めているところでございます。

また、自転車利用者のための環境整備につきましては、現在再開発地区の新駅ができるということで、放置自転車区域の指定という取り組み、また、新駅の開業に伴う新しい駐輪場の整備ということで、こちらのほうを進めておるところでございます。

また、駅から離れた場所への駐輪場設置、自転車に代わる交通手段の検討につきましては、今後の課題ということで報告書に掲載させていただいているところでございます。

また、区民会議で取り上げた課題解決の取り組みの窓口となる組織の検討につきましては、自転車問題に限らず大きなテーマということで、引き続き検討させていただいているところということで報告させていただきます。

次に、資料6をごらんください。こちらにつきましては、2番目のテーマでございます「これからの地域コミュニティづくりを考える」の取り組み事項の進捗の報告資料となります。

こちらにつきましても同じような形式で作成させていただいておりますが、まず、地域コミュニティの場の創出につきましてはアンケートを実施させていただいております。現在このアンケートの取りまとめ、集計を行っているところでございます。こちらにつきましては、平成21年度中に情報提供を開始していくスケジュールで現在作業を進めているところでございます。

また「あいさつ」の実践によるコミュニティづくりにつきましては、ポスターを通じまして、広く区民の方にあいさつを通じたコミュニティづくりを進めてもらおうということで、ポスターの掲出を行いました。また、区民会議ホームページの中でも、こちらの取り組みについて広く広報しているところでございます。また、区民会議の委員の方々が啓発用のポスター等を各団体の会合等の中で配布していただいて、こちらのほうにつきましても広く区民の方に周知の取り組みをしていただいているところでございます。

次の2ページ目になります。地域コミュニティ活性化のための事業を実施につきましても、再開発地区を中心に新たな区民の方を大変多くお迎えしているということで、地域を中心とした区民の方々の交流を促進するためのイベント等を計画しているところでございます。先ほどもちょっとお話しありましたが、3月13日の横須賀線武蔵小杉駅の開業に合わせまして、地域の方々等が中心となりまして、地域間での交流促進イベント実施の計画を進めているところでございます。

次に、商店街コミュニティ事業の充実につきましても、中原区商店街連合会と区役所で連携しながら、商店街を活用いたしまして、さまざまなコミュニティを活性化する事業を行っております。マナーアップポスター展を新城商店街において、いいなかプロジェクトを法政通り、また平間銀座商店街において、その他各商店街において商店街の地域資源を活用いたしましたコミュニティ事業を今後も実施していく予定となっております。

また、市民活動の充実につきましては、7月実施の市民活動の集いの中で交流をテーマにさまざまな活動を、市民活動の集い実行委員会と各団体、中原区役所が協働して取り組んだところでございます。また、来年度の開催に向けた準備も現在取り組んでいるところでございます。

次に、小杉駅周辺再開発地区等における地域コミュニティづくりの充実についても、各団体と中原区役所が連携いたしまして、講演会であるとかワークショップ、また啓発用のリーフレット等を配布いたしまして、コミュニティの充実の取り組みを進めているところでございます。

次に、3ページに進んでいただきまして、町内会・自治会活動を活性化するための支援につきましても、中原区役所、中原区町内会連絡協議会、また各団体と連携いたしまして、町内会・自治会加入促進用パンフレットの配布等の取り組みを進めているところでございます。

大型マンション住民の組織化に向けた支援も、中原区役所と各団体が連携いたしまして、他都市事例の調査や実施方法検討、またイベント等の行政情報の発信等、コミュニティの充実に向けた取り組みを進めているところでございます。

また、その他の課題ということで、ボランティアの参加促進策につきましては、今後の参考意見として報告書に記載させていただくとともに、皆様方の地道な活動の中で取り組みが進んでいるところでございます。

また、最後の区民会議で取り上げた課題解決の取り組みの窓口となる組織の検討につきましましては、自転車のところにも同じものを掲載させていただいておりますが、こちらは引き続き検討ということで報告させていただきます。

以上、第2期の区民会議の中で取り上げさせていただいておる「地域で取り組む放置自転車問題」と「これからの地域コミュニティづくりを考える」の2つのテーマの進捗状況の報告を終わらせていただきたいと思います。

藤枝委員長 どうもありがとうございました。今の事務局の説明で何かご質問がありましたらいただきたいと思います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

4 その他

(1) これまでの審議課題に対する取り組みについて

藤枝委員長 じゃ、続きまして、これまでの審議課題に対する取り組みについてです。

初めに、第1期の区民会議のテーマでありました「環境」の取り組みについて竹井副委員長から報告がございまして。

竹井副委員長 参考資料6ですね。1期の区民会議で地球環境について審議いたしまして、1期の中では、先ほどのコミュニティとか自転車の表のような感じでいろいろ取り組

んでおりました。2期になってからも、やっぱりこれは継続してやっていかないといけない課題であろうということで、なかはら地球にいいことプロジェクトということで、昨年1年間、関心のある方を中心にいろいろ検討してまいりまして、2010年、ことしから少しずつ行動していこうということで始まっておりますので、その報告をさせていただきます。

まず、知ってもらうことも必要ですので、1.今後の予定ということで、先ほど来から話題に出ております3月13日の中原区地域交流促進イベント（小杉新駅）でテントを1つお借りして、少し環境関係の展示等々をやる予定にしておりますので、皆さんも来たときにはお声がけいただければと思います。

もう1つ、2番目としましては、6月5日が世界環境デーとなっております。また、日本では6月の1カ月間を環境月間ということで、いろんなイベント、環境絡みの催し、取り組みがあるんですけども、最近では、市内または区内を含めて環境月間で目立った市民の活動は余りありませんでした。それもありまして、ことしは6月13日（日）、1日この区役所等を使わせていただいて、（仮称）「環境デー2010 in なかはら」というプロジェクトを主催しようかなと思っております。協力につきましては、一応中原区役所と今相談させていただいております。このプロジェクトは区民会議発でもありますので、ぜひ区民会議の名前もどこかに協力等で入れさせていただければなと思っております。また、本庁といいますか、市役所の環境局とか、温暖化対策推進協議会とか、いろんな活動をしている組織、団体と連携しながらやっていきたいなと思っておりますので、これからも皆さんの団体等にもお願いすることがあるかと思っておりますけれども、ご協力のほどよろしくお願ひします。

内容（案）としましては、本日も組合の方が来ておりますけれども、ぜひ富士通さんにも出展をお願いしたいとか、いろいろこれからお願いするかと思っておりますけれども、そういう事業者、企業の環境を中心とした社会貢献、地域貢献の展示とか市民グループの活動展示、あとちょっと時間が間に合うかどうかわかりませんが、学校、子ども会等からの子どもの環境取り組み発表もお願いしたいと思いますし、環境文化祭という名前をつけまして、環境だけという広がりが見えませんので、いろんな分野と一緒にやっていきたいなと思ってまして、1つの切り口として文化を、ぜひ藤嶋委員にもお願いしたいと思いますけれども、音楽とか、芸術とか、川柳、落語、人形劇、紙芝居等々いろいろあるんですけども、そういう切り口で楽しく過ごせる時間もつくりたいなと思ってまして、また川崎市環境関連行政の参加もお願いしたいなと思ってまして、屋内外での販売等々も何かできればなと思っております。

全体としましては、2.2010年活動の柱として、1)普及啓発・環境学習・環境教育の推進と2)実践活動の推進ということで、また1年間やっていきたいなと思っております。

定期的に打ち合わせもしてまいりまして、3.次回会議は2月1日（月）にまた行います

ので、関心のある方はぜひご参加いただいて、一緒に考えて行動していただければと思います。

以上、取り組みの報告でございました。

藤枝委員長 ありがとうございます。環境問題についても、京都議定書の後がなかなか思うようにいかないですね。

では次に、第2期の最初のテーマで何回か議論させていただいた放置自転車問題の取り組みについて自転車と共生するまちづくり委員会のベテランの芳賀委員、よろしく願いいたします。

芳賀委員 ちょっとお時間をいただきまして、私どもの活動につきまして報告させていただきたいと思います。参考資料7の表紙を見ていただければと思います。こちらに箇条書きで順を追って書いてございます。

まず、1番目に、11月18日(日)、第31回「なかはら“ゆめ”区民祭」に参加したと。当日は、大人、子ども合わせまして400名の方に私どものブースに立ち寄っていただきまして、放置自転車の話を中心にいろいろと皆さんとお話し合いをしながら、アンケート等をとらせていただきました。

2番目に、放置防止啓発ということで、日常行っています「呼び掛け活動」なんですけれども、毎月約2回やっております、この期間中に5回実行しました。年間にしますと大体20回実行しております。1回の参加者が大体20名ぐらいですから、今回の5日間で100名の参加があったということでございます。おかげさまでこちらの活動ももう七、八年続けておりますので、ちょっと小杉の名物になっておりまして、グリーン色のジャケットを着ていると、自転車がどこかへ逃げてしまうような状況にはなっております。ですけれども、器のほうの問題になっております。そちらのほうは、先ほど行政からの報告の中で新駅のほうに大型の駐輪場をつくる、二ヶ領用水の駐輪場を整備するというようなお話があったかと思えます。これからは、そちらのほうで皆さんに利用していただければと思っております。

3番目、11月12日(木)、24日(火)ですけれども、武蔵小杉駅周辺と新丸子駅周辺において放置自転車の台数調査を行いました。これも今回で6回目ぐらいになるんですけれども、毎年11月に定点観測をしております。ことしもいろんな場所でやりましたけれども、毎年同じ場所でやっておりますけれども、ことしはちょっと場所が増えまして34カ所で、9時、12時、15時、18時、21時と1日に5回、朝から晩まででしたので、とても大変でした。それを1回でなく2回、2日実行いたしました。その結果は次の2ページ以降に表になってございますので、こちらのほうは時間の関係でくどくどと説明できませんので、後ほど皆さんのほうで見ていただければと思います。

我々がやっている中で、東電わきの開放されていた駐輪場を閉鎖しました。こちらのほうは日常約330台利用されておりました、無料で放置の摘発なしということで利用されて

いたので、非常に便利だったと思います。ですけれども、これはあくまで民地なものですから、工事の関係で返さなければならない期限に来まして、6月1日だったと思いますけれども、お返しいたしました。そのときに、皆さんにご協力をいただいて、330台の自転車をそこから撤去ということではないんですけれども、そこにとめないように呼び掛けをしました。それとあわせて、行政の努力で、今、空き家になっております旧市民館の1階の駐車を、解体までの間、時間が少しありますので、臨時駐輪場として使わせてもらうというふうにしました。そちらのほうに東電に相当する 東電には大体330台ぐらいいましたので、その自転車が全部入れるということで380台分用意させてもらって、供用開始しております。案内しました結果、今のところまだ約200台ちょっとしか利用してくれないので、大体100台ぐらいどこかへ行ってしまったなということです。タワープレイスの前とか、東急の北口あたりにその辺の自転車が少し出ていったのかなという感じは受けます。それでも、今まで以上に混雑しているような場所は見受けられないです。

11月30日(月)「中原区自転車等駐車対策推進協議会」に参加させていただきましたら、そちらのほうで横須賀線新駅前に建設中の「JR武蔵小杉駅自転車等第3駐輪場」が開設されますよというお話を伺いました。こちらにつきましても先ほど行政の報告にありましたが、内容的にいいますと、4階建ての専用ビルということで、1400台駐輪ができるというふうに伺いました。11月の調査による数字は今、小杉地区には放置自転車が大体1500台あります。ですから、それを含めるとちょうど1400台、ほぼ数字的に一致するような状況になってきます。ですから、放置に対して、数字的には全面的に行政は対応できているというような結果になったのかなと思います。ただ、利用者のモラルというものがそこにはありますので、現実問題としては、なかなかうまくいかないかなとは受けとめております。

もう1つ、再開発地域の中は、今まで放置自転車規制区域になっていない場所が何カ所があったんですね。それぞれのディベロッパーで開発したところにつきましては、その都度規制区域が決まってきたんですけれども、一部再開発に該当しなかった部分等に残りがありまして、今そこに大体60台ぐらい放置自転車が毎日あります。そちらのほうを含めて、NECさんの前の道路、向河原駅までの道路ですね。その辺のところも含めまして、今度規制区域が広がるそうです。ただ、ここでそういうことを言っているのかどうか、議会でまだ議決されていないと思いますので、ちょっと言い過ぎかもしれませんが、そちらのほうは今度3月1日から試行されると伺っております。ちょっと余計なことを言ってしまったかもしれませんが、十分な駐輪場が準備できているという状況ですので、当然のことかなと思っています。

そのとき、あわせて、先ほど言いましたような二ヶ領用水の駐輪場が、二ヶ領用水以南に、大乘院の裏あたりに今まで駐輪場があったんですけれども、あそこの兩岸を、大乘院の裏から、自治会館の角から南武線沿線道路までの間。そこをほとんどすべて、でき

る限り駐輪場にするとということで、今こちらのほうは工事にかかっております。その説明も受けました。もう1つ、そこはオートバイも止められるようなスペースもつくりますよということで、今まで勝手に、野方図に駐輪していた自転車が、ラックができて、きっちりとまるようになると思います。これは地元の方から、自転車が非常に乱雑に、道路のほうにまではみ出してとまっていて困るというような苦情があったそうです。ですから、それを一挙に解決できるような状況になってきました。

6番目なんですけれども、1月に「放置自転車のないまち通信」3号を町会で回覧させていただきました。それで今4号を編集中でございますけれども、何とか年度内に発行というつもりであるんですけれども、多分に4月にずれてしまうのかなと思っております。そんなことで一生懸命頑張っておりますけれども、なかなか思うようにいかないところもございますが、行政も非常に積極的に行動を起こしていただきまして、この1年、自転車対策については非常に進んだのかなという実感を受けております。

後ろのほうにちょっと細かい数字がいっぱい書いてございますけれども、順を追って読んでいただければ大体ご理解いただけるのかなと思いますので、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

藤枝委員長 どうもありがとうございました。1400台プラス大乘院のところのあそこがきれいになるといいですね。今ちょっと汚いですがものね。

芳賀委員 結局とめる場所の指定というんですか、ただ場所だけしかないものですから。それを全部、自転車の前輪をかけられるようなラックがつくそうですから、必ずそこに自転車の前輪をつけてとめるということになると、後ろがきっちりそろいますので、今までどおりばらばらに入っているという状況でなくなると思います。それと規模が、今は大乘院の裏から大乘院の墓地のところまでしか指定の駐輪場はないんです、はっきり言いまして。それを全部、南武線沿線のところまで駐輪場として扱うことになるんだそうです。その工事が2月いっぱい終わるそうですから、非常にきれいになると思います。

藤枝委員長 そこは、今度の増やすと、駐輪場のキャパシティは全体でどれくらいあるんですか。

芳賀委員 キャパシティも聞いたんですけれども、ちょっと数字は忘れまして。どなたか、行政の方、数字を言える方はいらっしゃいますか。田中さん、いかがですか。

事務局 三百数十台だったと思います。

藤枝委員長 三百数十台は大きいですね。

芳賀委員 かなり大きな駐輪場になるかと思えます。

藤枝委員長 どうもありがとうございます。じゃ、引き続き皆様にも、この取り組みへのご協力を今以上によりしくお願いいたします。

ほかにこの件で皆様からご意見ございますか。質問でも結構ですが。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

（２）区民会議交流会について

藤枝委員長 では次に、区民会議交流会についてです。参考資料８をごらんになっていただけますか。

初めに、７区区民会議交流会の１ 背景と目的は、第１期自治推進委員会から、各区の区民会議の委員同士が学び合いながら、お互い協力し合って取り組みを発展させるため、各区の区民会議の交流を行うという提言がされ、それによって開催されるものでございます。今回、各区の委員が集まりまして、互いの取り組み状況。この区民会議というのは、区によってかなり温度差があるので、やり方も随分違っていると思うので、その辺の意見交換もしながら、運営方法の情報交換を行うとともに相互の連携を深めることで今後の区民会議の発展につなげていきたいなと思っております。

２ 開催時期は、平成22年３月14日（日）の午後１時からを予定しております。

３ 開催場所は、今度新しくできました中原市民館多目的ホールでございます。

４ 参加者は、各区から３名ということで正副委員長を予定していたんですが、竹井副委員長は当日もう１つ同時開催される自治推進フォーラムの委員長なもので、かわりに横川協働推進事業検討部会長に出席いただくようになるとは思いますが、横川委員、よろしいですか。

横川委員 はい。

藤枝委員長 そのほか、市長を初め総合企画局長、各区長の方々が参加の予定です。今後各区の参加者代表が集まりまして、第２期区民会議の運営等や第３期に向けて他の区の区民会議委員と意見交換をしたい内容について、適切なテーマを２つから３つ選定する予定になっております。交流会の説明は大体以上でございます。委員の皆様、奮ってご参加いただければありがたいなと思っております。

次に、事務局から何か連絡事項がありますか。

事務局 事務局から連絡事項等についてお知らせしたいと思います。

まず、今後の日程ということで、参考資料９をごらんいただけますでしょうか。こちらについては、平成20年度の７月から22年度の６月までの第２期区民会議のスケジュールの大きな流れで以前から使わせていただいている資料でございます。現在平成21年度の１月、平成22年の１月という形でございまして、こちらの第３回区民会議が本日でございます。

今後の予定でございますが、今後運営部会を開催し、その中で第２期区民会議の報告書の取りまとめ等を行いまして、次回、第４回区民会議が第２期の最終回となります。こちらにつきましては３月19日（金）15時から17時30分、中原区役所502・503会議室、きょうと同じ会場になりますけれども、こちらの会議室で開催するということで予定しております。

す。よろしくお願いいたします。また、第4回区民会議の中で第2期区民会議の報告書についてご確認いただいて、その後、市長及び区長に報告、また、年度が明けまして、5月の中旬ごろに、この報告書をもとに区民の方々に取り組みについてお知らせする市民報告会を行う予定でございます。こちらの日程につきましては、また別途調整させていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

区民会議とは直接関係はございませんけれども、3月13日(土)に、先ほどから何回か出てきているようにJR横須賀線武蔵小杉駅が開業するというので、この開業日に合わせまして、地域の方々が中心となりまして地域交流促進イベントが開催されます。皆様方には、詳細が決まり次第、別途ご案内させていただく予定としております。

運営部会の開催日の日程調整について、この会議終了後に行いたいと思いますので、部会委員の方はお残りいただければと思います。

先ほど藤枝委員長からご報告がございました資料8に基づきます7区区民会議交流会の参加者につきましては、各区民会議委員3名外でございますけれども、参与の方々にもご参加いただくという形でご案内を差し上げる予定としておりますので、あわせてよろしくお願いいたしますと思います。

事務局からの報告は以上でございます。

藤枝委員長 どうもありがとうございました。

5 閉会

藤枝委員長 これで大体すべての議事は終了いたしました。皆様のご協力で円滑な議事を進めることができましたことに、副委員長ともども感謝申し上げます。ありがとうございました。予定より10分ほど早くなったのは初めてですが、以上で第3回中原区区民会議を閉会といたします。どうもありがとうございました。(拍手)

午後4時6分 閉会